



## その時 あなたは どのように行動しますか



# 住んでいる地域の特性を知る

### 『防災マップ』でわかること

一口に災害といっても、さまざまな種類があり、暴風や竜巻、豪雨、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、地滑り、その他の異常な自然現象や大規模な火事などにより生じる被害のことを災害といえます。

どの災害も、身近なところで発生する可能性があります。登別市の街地の多くは、海と山に挟まれた平坦地に存在しているため、津波や崖崩れ、地滑りなどの危険性がありません。

また、胆振幌別川や来馬川、鷲別川、登別川などの河川が市街地を流れており、洪水の恐れもあります。お住まいの地域や職場は、どのような場所に位置し、どのような危険があるのか、考えてみたことはありませんか。

市は、平成26年3月に津波浸水予測範囲や土砂災害警戒区域などあわせて、高台の避難場所や避難路などを確認できる『防災マップ』を改訂し、市民の皆さんへ配布しました。

現在は、登別市への転入手続きの際にお渡ししているほか、市公式ウェブサイトででも確認することができます。

災害が発生する可能性の高い場所や災害の種類をあらかじめ知っておくことは、被害を最小限にすることにつながります。豪雨が発生した時に、自宅が洪水や崖崩れなどが起る可能性が高い場所と知っていれば、避難準備をいち早くすることができ、自身や家族の身を守るようになります。

この機会に、家族で『防災マップ』をお読みになり、普段何気なく見ている川が氾濫した場合や山で土砂災害が発生した場合、その被害が及ぶ可能性が高い地域を確認してみませんか。

また、普段、過ごしている地域では、どこが避難場所になるのかなど、普段とは違った視点で、住み慣れた地域を見直すことも重要な防災への取り組みの一つです。



▲冬に災害が発生することも

## 防災マップを読んでいますか



防災マップ「洪水・土砂災害防災マップ幌別地区」